

兵庫県保険医協会尼崎支部

会員懇談会のご案内

暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
さて、協会尼崎支部では、下記の会員懇談会を開催することといたしました。



ぜひ皆さまお誘いあわせのうえご参加ください。

日時 8月31日(土) 午後5時～

場所 阪急トップビアガーデン

(阪急梅田駅うへ 阪急ターミナルビル屋上 JR大阪駅・地下鉄梅田駅すぐ)

参加費 3800円

定員 30名

お申込みは、
兵庫県保険医協会(078-393-1805 長澤・荒川・石本・山下)まで

尼崎社会保障推進協議会 緊急学習会

生活保護基準引き下げ開始! 「どうなる 私たちの暮らし」

と き 8月17日(土)

ばしょ 旧労働福祉会館小ホール

連絡先 尼崎医療生協・日だまりの里(堤) TEL06-4962-5920

アスベスト被害 法律・医療・労災相談会のお知らせ

アスベスト被害に関する法律・医療・労災など、不安や心配をお持ちの方の相談に応じます。
弁護士、医療関係者、専門家が相談にお答えします(秘密厳守、無料です)。

患者さんなどにご案内ください。

【日時・会場】9月1日(日)午前10時～午後4時 小田地区会館(JR尼崎駅南徒歩5分)

※お急ぎの方や、当日都合がつかない場合は、「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」にご相談ください。 TEL・FAX 06-6489-2600

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

346号

2013年8月5日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 ハ木クリニック内
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

第42回支部総会

ジェネリック医薬品について理解深める

尼崎支部は、7月20日、サンシビック尼崎にて第42回総会を開催し、記念企画である講演討論会「ジェネリックを正しく理解しよう!」に会員、医療従事者、一般市民ら31人が参加した。

同企画は、医師、薬剤師など医療従事者、市民がジェネリック医薬品について理解を深める目的で催され、冒頭に武庫川女子大学薬学部臨床製剤学講座の内田亨弘教授が「ジェネリックと先発品の同等性について」と題して講演。ジェネリック医薬品の品質、安全性、効果など先発品との相違点や開発の流れ、各国のジェネリック医薬品普及状況、今後の課題などを示し、「患者が医薬品を選ぶ時代。疑問がある場合は、医師や薬剤師に相談を」と呼び掛けた。

また、事前に支部医科会員および薬科会員に実施したジェネリックに関するアンケートの結果報告を、支部幹事の西原弘道先生(西原クリニック)、薬科会員の滝本桂子先生(薬局リベルファーマシー)がそれぞれ報告した。

参加者からは、「現場の生の声が聞けた」「第三者機関による安全性や効果についてのデータを知りたい」といった感想が寄せられた。

総会では、2013年度の方針が採択された(活動方針を2ページに掲載)。



参加者の質問に答える内田先生



西原先生(写真左)、滝本先生(写真右)がアンケート結果について報告した

兵庫県保険医協会尼崎支部 2013 年度活動方針

1. 審査・指導、経営対策など新規開業医を対象とした懇談会などの開催で、支部幹事会への新規開業医の参加を図るとともに、勤務医会員の拡大にも力を入れ支部活動への参加を促し、幹事会を一層活性化していく。
2. 地域医療・介護を支える現場スタッフの力量向上を目指して、「医療と福祉を考える会」を開催する。
3. 在宅医療点数研究会や介護保険に関する研究会などを企画する。
4. 医師、歯科医師をはじめ、職員も参加対象とした医科歯科連携に役立つ研究会を企画する。
5. 住民の要望に基づき復興住宅での健康教室や健康と医療について語り合う会を開催する。
6. 職員対象の保険請求事務講習会や接遇研修会、医療安全管理研修会などを企画する。
7. 医療や福祉・介護保険等の改善、充実を求める尼崎社保協や民主市政の会など支部加盟団体の活動に積極的に取り組む。
8. 「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」に結集し、被害者救済と企業・国の責任追及に取り組む。特に、国・企業の責任を追及するためにアスベスト尼崎訴訟を支援する。
9. 「県立塚口病院の充実と尼崎市及び阪神地域の医療を考える会 (通称・県塚の会) 」の活動に積極的に参加し、尼崎及び阪神地域の医療を守る運動を住民とともに展開していく。
10. 「あまがさき 9 条の会」をはじめ、市内の地域 9 条の会に協力し、平和憲法を守る活動に参加する。
11. 会員間の交流を深める文化行事を企画する。
12. 支部ニュースの毎月発行に努める。

兵庫県保険医協会尼崎支部役員 (敬称略・五十音順) 13 ～ 14 年度

【支 部 長】	八木 秀満					
【副支部長】	綿谷 茂樹 (筆頭)	大塚 誠治	大原 知樹			
【支部幹事】	西原 弘道 (主任)	朝田 真司	阿部 勝也	今北 正道	高 光重	
	合志 明彦	鈴木 克司	高田 正	立石 順	長谷川 吉昭	
	畠中 正昭	藤岡 一郎	細見 基信	堀尾 俊治	前田 重人	
	増田 勉	町塚 博文	松田 哲一	両角 隆一	山内 道士	
	山下 秀明	行松 信孝				
【参 与】	合志 至誠	森本 和夫	横田 友二			

兵庫県保険医協会役員 (敬称略・五十音順) 13 ～ 14 年度

【理 事】	西原 弘道	八木 秀満	綿谷 茂樹		
【名誉理事長】	合志 至誠				
【評 議 員】	大原 知樹	高田 正	谷川 博信	長谷川 吉昭	前田 重人
	町塚 博文	両角 隆一 (新)	山下 秀明		
(予 備)	大塚 誠治	高 光重	鈴木 克司	堀尾 俊治	
(歯 科)	阿部 勝也	富澤 洪基			

尼崎アスベスト訴訟 (公害型) 控訴審

後世に恥じない判決を

尼崎アスベスト訴訟 (公害型) の控訴審が 7 月 3 日大阪高等裁判所で第 2 回弁論が開かれた。これは尼崎市内のクボタ旧神崎工場周辺で中皮腫を発症し死亡したとして、クボタと国を相手に謝罪と損害賠償を求める裁判。約 100 人の支援者が大法廷の傍聴席を埋める中、原告の山内康民さんが意見陳述し、原告弁護団が、提出した準備書面の主張内容を明らかにした。

山内さんは元気だった父親が中皮腫と診断され、原因も分からないまま地獄の苦しみの中死んでいったこと、裁判で国とクボタの責任を明確にすることがとても重要であることを訴えた。神戸地裁判決について、救済範囲があまりに狭く、大阪高裁では後世に恥じない判決をするよう訴えた。

弁護団は、海外ではアスベストの危険性が明らかにされていたにもかかわらず「日本だけがそれを知ることができなかった」ため危険であることが分かっていなかったなどとする 1 審での国の主張の誤りを指摘した。

終了後に開かれた、協会尼崎支部も参加する「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」 (会長・船越正信尼崎医療生協理事長) 集会では原告の保井さん、山内さんが最後まで支援を訴えるとともに、弁護団が国の主張の誤りを改めて解説した。また、京都や泉南など連帯する訴訟からもそれぞれの取り組みの現状について報告があった。

この裁判は、10 月 9 日に結審する見通し。「尼崎アスベストの会」では大阪高裁に公正な判決を求める署名に 10 万人を目標として取り組んでおり、4 万人分をすでに提出した。会では署名をさらに増やしたいとしている。



報告集会にも多数の支援者が参加した

第 475 回幹事会だより

7 月 19 日 (金) 於 阪急塚口「竹葉」 参加 : 7 人

- 尼崎支部の会員数と組織率
7/18 現在 医科 382 人、歯科 142 人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
支部総会、当面の支部活動、情勢などについて意見交換した。
- 当面の支部活動
8 月 19 日金楽寺住宅健康教室、9 月 12 日医療と福祉を考える会
- 次回の幹事会
今回は 8 月 31 日阪急梅田「阪急トップビアガーデン」で開催。

お問い合わせはTEL 078-393-1805 長澤まで